

A3道徳リードシート

1 主題設定

作成者 ()

■日時 平成()年()月()日()曜日 第()校時

■学年 第()学年()組 ()名

本時の内容項目

内容項目に係るキーワード

内容項目に係る児童生徒の実態

教材名(出典)

主題名

本時のねらい

2 教材分析

①道徳的に変容した登場人物は、誰か。

(A)

②(A)が変容するきっかけになった出来事は、何か。

(B)

③(A)が変容を遂げて、どうなったか。

(C)

④(C)を中心発問として構成しましょう。

⑤本時のねらいを明確にしましょう。

例：(B)をきっかけに(C)した(A)の気持ちを考えることを通して、(D)の大切さに気付かせ、(E)しようとする(F)を育てる。

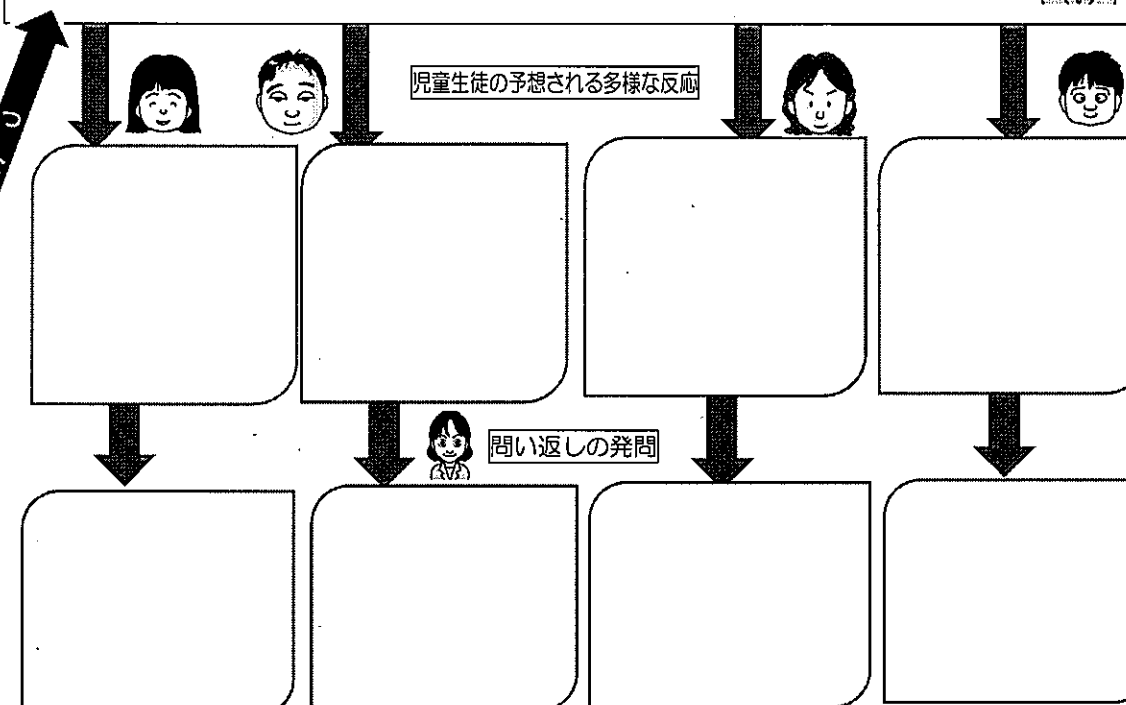
※参考

- (A) 道徳的に変容した登場人物
 (B) (A)が変容するきっかけになった出来事を記入する。
 (C) (A)が変容を遂げたところを記入する。
 (D) 内容項目から児童生徒の状況や発達段階に応じて記入する。
 (E) 内容項目から児童生徒の状況や発達段階に応じて記入する。
 (F) 道徳性の諸要素(道徳的判断力、道徳的心情、道徳的实践意欲と態度)を記入する。

※教材の特質から、本教材分析が適用できない場合もあることに留意する必要がある。

3 授業構想

◎中心発問または児童生徒に道徳的価値に対する考えをもたせるための発問



- ※ 本時における一面的な見方から多面的・多角的な見方へとつながる問い返しの発問例
- ① 解決策の理由(動機)を問う発問 「どうしてそう思いましたか。」
 - ② 将来の結果(因果関係)を問う発問 「そうしたら、どうなると思いますか。」
 - ③ 過去の経験を振り返り、将来の見通しを立てる発問 「自分も同じような経験はありませんか。」
 - ④ 可逆性の原理を用いた発問 「自分がそうされてもよいですか。」
 - ⑤ 普遍性の原理を用いた発問 「いつ、どこで、誰にでもそうしますか。」
 - ⑥ 互恵性の原理を用いた発問 「それで皆が幸せになれるですか。」
 - ⑦ その他 「～は、どんな気持ちでしょう。」
 - 「～のしたことをどう思いますか。」

【参考】道徳教育に係る評価等の在り方に関する専門家会議(第2回)における岐阜大学大学院 柳沼良太准教授の配付資料より

授業終了後に本時のねらいに迫った児童生徒の考え

【座席表】

4 学習指導過程

段階	ポイント	主な発問(◎中心発問または児童生徒に道徳的価値に対する考えをもたせるための発問)
導入	○主題にかかわる問題意識をもたせる。 ○教材の内容に興味や関心をもたせる。 ○学習への雰囲気づくりを大切にする。	○
展開	○中心的な発問等を軸として一貫性のある発問の構成を考える。 ・児童生徒の実態と資料の特質を踏まえた発問とする。 ・児童生徒がどのような問題意識をもち、どのようなことを中心にして話し合うのかについての主題が明確になった学習とする。	○ ◎ ○ ○ ○
終末	○学習を通して考えたことや新たに分かったことを確かめる。 ○自らの道徳的な成長や明日への課題などを実感させる。	○

A3道徳リードシート

作成者（〇〇 〇〇）

1 主題設定

■日時 平成28年7月4日月曜日 第5校時

■学年 第4学年1組 30名

本時の内容項目	C 規則の尊重	内容項目に係るキーワード	約束や社会のきまりの意義
---------	---------	--------------	--------------

内容項目に係る児童生徒の実態	約束や社会のきまりの意義は理解していないが、守らないといけないという意識は高い児童が多い。	教材名（出典）	「雨のバス停留所で」 出典：「わたしたちの道徳 小学校三・四年」文部科学省
----------------	---	---------	--

主題名 約束や社会のきまりを守って

【本時のねらい】
お母さんの横顔を見ながら自分がしたことを考え始めたよし子の気持ちを考えるを通して、約束や社会のきまりの意義を理解し、それを守ろうとする態度を養う。

2 教材分析

①道徳的に変容した登場人物は、誰か。

(A) よし子

②(A)が変容するきっかけになった出来事は、何か。

(B) お母さんの横顔

③(A)が変容を遂げて、どうなったか。

(C) お母さんの横顔を見ていたよし子が、自分がしたことを考え始めたところ。

④(C)を中心発問として構成しましょう。

◎お母さんの横顔を見ながら自分がしたことを考え始めたよし子は、どんなことに気付いたのでしょうか。

⑤本時のねらいを明確にしましょう。

例：(B)をきっかけに(C)した(A)の気持ちを考えるを通して、(D)の大切さに気付かせ、(E)しようとする(F)を育てる。

お母さんの横顔を見ながら自分がしたことを考え始めたよし子の気持ちを考えるを通して、約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ろうとする態度を育てる。

※参考

- (A) 道徳的に変容した登場人物
(B) (A)が変容するきっかけになった出来事を記入する。
(C) (A)が変容を遂げたところを記入する。
(D) 内容項目から児童生徒の状況や発達段階に応じて記入する。
(E) 内容項目から児童生徒の状況や発達段階に応じて記入する。
(F) 道徳性の諸要素（道徳的判断力、道徳的心情、道徳的实践意欲と態度）を記入する。

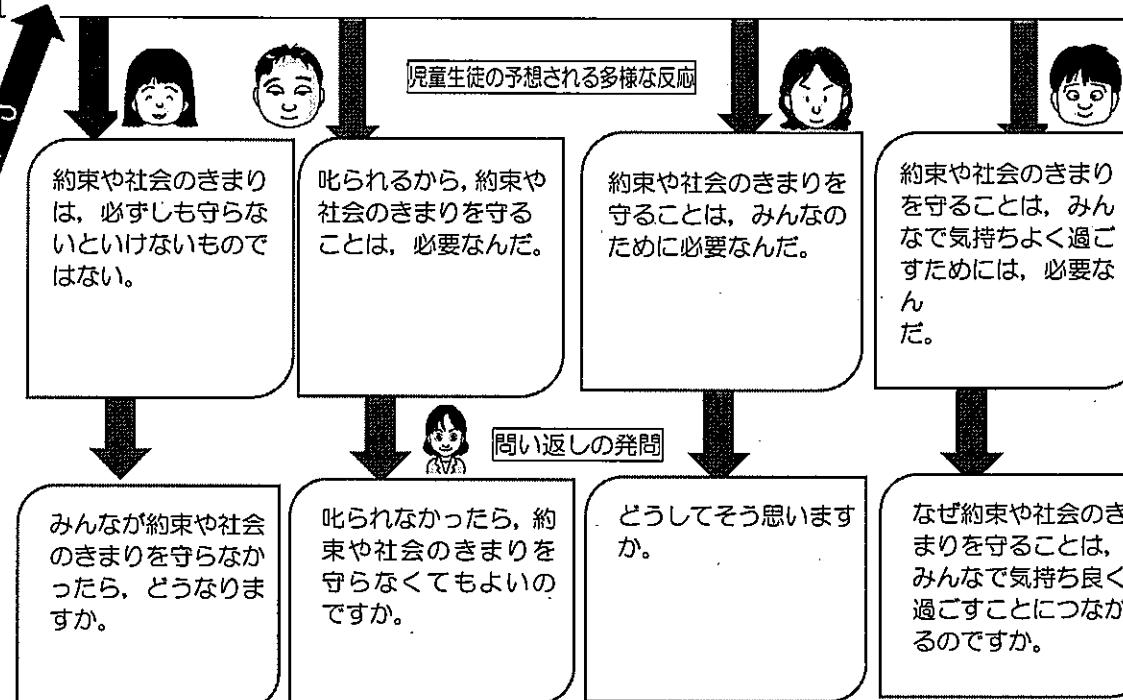
※教材の特質から、本教材分析が適用できない場合もあることに留意する必要がある。

1 から 4 までは順番に記入してください！

3 授業構想

◎中心発問または児童生徒に道徳的価値に対する考えをもたせるための発問

◎お母さんの横顔を見ながら自分がしたことを考え始めたよし子は、どんなことに気付いたのでしょうか。



- ※ 本時における一面的な見方から多面的・多角的な見方へとつながる問い返しの発問例
- | | |
|-----------------------------|----------------------|
| ■ ① 解決策の理由（動機）を問う発問 | 「どうしてそう思いましたか。」 |
| □ ② 将来の結果（因果関係）を問う発問 | 「そうしたら、どうなると思いますか。」 |
| □ ③ 過去の経験を振り返り、将来の見通しを立てる発問 | 「自分も同じような経験はありませんか。」 |
| ■ ④ 可逆性の原理を用いた発問 | 「自分がそうされてもよいですか。」 |
| □ ⑤ 普遍性の原理を用いた発問 | 「いつ、どこで、誰にでもそうしますか。」 |
| ■ ⑥ 互恵性の原理を用いた発問 | 「それで皆が幸せになれるですか。」 |
| □ ⑦ その他 | 「～は、どんな気持ちでしょうか。」 |
| | 「～のしたことをどう思いますか。」 |

【参考】道徳教育に係る評価等の在り方に関する専門家会議（第2回）における岐阜大学大学院 柳沼良太准教授の配付資料より

授業終了後に本時のねらいに迫った児童生徒の考え

約束や社会のきまりは、みんなで気持ちよく過ごすためにとても大切なものだから、守っていこうと思う。

【座席表】

〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇

4 学習指導過程

No. 1

段階	ポイント	主な発問（◎中心発問または児童生徒に道徳的価値に対する考えをもたせるための発問）
導入	○主題にかかわる問題意識をもたせる。 ○教材の内容に興味や関心をもたせる。 ○学習への雰囲気づくりを大切にする。	○身の回りには、どのような約束やきまりがあるでしょうか。また、なぜ約束やきまりがあるのだと思いますか。 ・信号を守ることを。安全に生活するため。 ・下時刻時刻を守ることを。子供が安全に生活するため。 ・廊下を走らないこと。安全に学校生活を送るため。
展開	○中心的な発問等を軸として一貫性のある発問の構成を考える。 ・児童生徒の実態と資料の特質を踏まえた発問とする。 ・児童生徒がどのような問題意識をもち、どのようなことを中心にして話し合うのかについての主題が明確になった学習とする。	○バスが見えた時、よし子がかけて出してバス停の先頭に並んだのはどのような思いからでしょうか。 ・早くバスに乗らないと雨にぬれてしまう。 ・早く行って、お母さんと一緒に座りたい。 ○六番目に並んで待っているよし子は、どのようなことを考えているのでしょうか。 ・せっかく一番先頭に並べたのに。お母さんは、なぜ引き戻したりしたのだろうか。 ・早い者勝ちでいいじゃないか。損した気分だ。 ◎お母さんの横顔を見ながら自分がしたことを考え始めたよし子は、どんなことに気付いたのでしょうか。 ・追い抜かしたから、お母さんは怒っていること。 ・待っていた人たちに悪いことをしたこと。 ・自分のことだけしか考えずに行動したこと。
終末	○学習を通して考えたことや新たに分かったことを確かめる。 ○自らの道徳的な成長や明日への課題などを実感させる。	○私が中学校時代に約束やきまりを守る大切さを感じた体験をお話します。

(教材名)

()年()組()番()

○(記入例)自分が考える()について書いてみよう。

○(記入例)友だちと議論して、自分にはない考えや納得した考えを書いてみよう。

○(記入例)もう一度、自分なりに考えた()について書いてみよう。

○(記入例)道徳の時間で感じたこと

振り返り例	4 発	3 整理	2 考	1 考
①(主題名)について考えることができたか。				
②自分のことをしっかり考えたか。				
③周囲の考えを聞いて、なるほどと思う考えや納得のいく考えがあったか。				
④考えたことをこれから大切にしていこうと思ったか。				
⑤教材資料は心に響いたか。				